

7月 パラソルだよ！

暑さも日々増していき、本格的な夏の季節もすぐそこまで来ているようです。梅雨と夏の合間の、天気や気候の変化が大きい時期です。体調管理には十分気を付けましょう。児童センターでは、7月2日（子育て支援センター主催）、7日（児童館主催）で、「七夕会」を行います。それぞれの場所で短冊を飾りますので、ぜひご参加ください。



夏に多い子どもの病気

夏に子どもがよくかかる「夏風邪」には、「手足口病」「ヘルパンギーナ」「咽頭結膜熱（プール熱）」「流行性角結膜炎」の主に4つがあります。
梅雨の時期から夏に流行し、ウイルスが原因で発症します。



病名	かかりやすい年齢	症状	主な原因
手足口病	2~3歳	<ul style="list-style-type: none"> 38~39℃の発熱 手のひら、足、口の粘膜などに5~7mmの小さな水疱。 	感染者の唾液・鼻水が付着したおもちゃなどを触った手や、オムツ替えの際に便に触れた手を介して、口から病原体ウイルスが侵入する接触感染と、くしゃみなどで飛び散った病原体ウイルスを吸い込む飛沫感染によって伝染する。
ヘルパンギーナ	0~4歳	<ul style="list-style-type: none"> 発熱 上あごの奥に周囲が赤くなった1~数ミリの小さな水疱。 	主に飛沫感染。プールなどで、結膜からの感染や目やにからの接触感染などもある。
咽頭結膜熱（プール熱）	1~5歳	<ul style="list-style-type: none"> 発熱 咽頭痛 扁桃腺の腫れ 目やに 	主に飛沫感染。プールなどで、結膜からの感染や目やにからの接触感染などもある。
流行性角結膜炎	1~5歳 ※成人も含め、幅広い年齢で発症する	<ul style="list-style-type: none"> 結膜の浮腫（むくみ）、充血 まぶたの浮腫 （さらさらとした）目やに・涙 	感染力が強く、接触感染で容易に人から人に伝染する。人が接触する機会の多い職場、病院、家庭内などで広がりやすい。



予防するには？

手洗いやうがいでの予防できます。水遊びの前後には必ずシャワー、洗眼を。
タオルの共用は避けましょう！

夏は「とびひ」にも注意！
湿疹や虫刺されなどを掻きむしった部位に細菌が感染し、そこから“飛び火”するかのようになり、周辺や離れた部位に症状が広がります。人から人へ感染するので気を付けましょう。

病気が回復しても油断禁物！！

病気が良くなっても、ウイルスは、しばらく便などの排泄物、家具の表面などに残っているので、注意しましょう！

地面近くの温度は高くなっているため、ベビーカーに乗せて外出する時も注意が必要です。できるだけ日陰を歩いたり、こまめに水分補給をして脱水しないように気を付けましょう。

発行...利用者支援事業
☎0952-75-5120